

調理器具一式を 大垣桜高に寄贈 河合寿司(大垣市横曽根) と大垣西濃信用金庫は、同

市墨俣町上宿の大垣桜高校に調理器具一式を寄贈した。発行手数料の一部を企業が指定した学校などへの寄付に充てる同金庫の地域貢献型私募債「絆」を活用し

調理器具一式を贈った河合敏直社長(左から2人目)＝大垣市墨俣町上宿、大垣桜高校



た。調理器具は鍋6個と電子レンジ2台。食料科と生活文化科で調理実習に使用する。

卒業生8人が河合寿司で働いている縁での寄贈で、調理器具とは別に、河合寿司で働く卒業生一同は不織布マスク2500枚を贈った。

河合敏直社長と同金庫の渡邊治信中央支店長が学校を訪れ、猿井久美子校長に目録を手渡した。河合社長は「学業に専念してもらい、生徒が社会で活躍できれば」と述べ、猿井校長は「地域に貢献できるスペシャリストの育成を目指している。学びの中で有効活用させていた

だく」と感謝した。
(鈴木隆宏)